

知的財産活動

知的財産部門の中期計画の振り返り

当社では、2026年3月期に最終年度を迎える知的財産部門の中期計画に基づき、グローバルな組織体制の確立、経営陣による知的財産活動の継続的なモニタリングを可能にするガバナンス体制の構築、そして国際規格 (ISO56005) に準拠した知的財産マネジメントシステムの整備に取り組んできました。

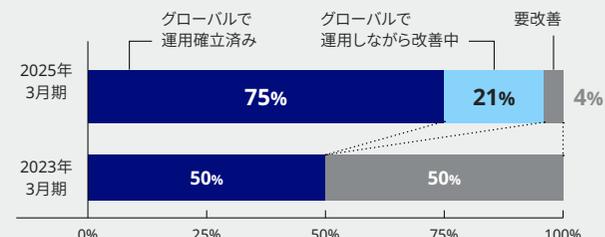
当社の知的財産部門は、グローバル法務部門の一組織であり、世界各地域の知財活動を統括する組織として位置づけられています。知財担当責任者の指揮のもと、各地域の知財活動を統括する機能が配置され、担当地域の知財活動を遂行しています。また、異なる地域の関係者が一つの製品開発に関わるグローバルな製品開発体制が拡大しているため、各地域の知財活動を横断的に管理する機能も設置し、グローバルに最適化された組織体制を展開してきました。

また、知財担当責任者は年1回、グループ経営執行会議や取締役会に、知財活動の重要業績評価指標 (KPI) に基づいた活動報告を行うガバナンス体制を構築し、必要に応じて適切な対応を講じています。

さらに、当社が持続的成長を実現するためにはイノベーションの創出が不可欠です。そのため、知的財産部門は、知的財産マネジメントシステムに関する国際規格 (ISO56005) の導入を進めてきました。この国際規格は、イノベーションを持続的に創出するために、知的財産をどのように管理すべきか定めたものであり、知的財産戦略の役割やマネジメントの方法等を体系的に示しています。知的財産部門はこの国際規格の実施率100%の達成を目指して取り組んできています。

国際規格 (ISO56005) の実施率

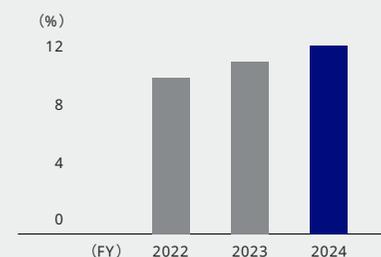
これまでの持続的成長に向けた知的財産活動を通じて国際規格 (ISO56005) の実施率はグラフの通り96%まで到達しており、知的財産部門全体として規格の遵守が着実に強化されています。



持続的成長に向けた知的財産活動の成果

当社は、患者さんの安全を最優先とし、米国食品医薬品局 (FDA) から受領した警告書への対応を着実に履行し、世界水準の品質機能の確立に向けて取り組んでいます。当社がこのような取り組みにリソースを優先的に配分しつつも、持続的成長を実現していけるよう、知的財産部門は知財リソースを精緻に配分することを目指してきました。

高成長事業領域の特許ポートフォリオ比率



取り組み	成果
グローバル標準に基づく特許ポートフォリオの最適化	知的財産部門は、グローバルに標準化された権利維持判断プロセスに沿って既存の特許ポートフォリオを再評価し、事業に必要な特許は維持しつつ、保有特許の削減を進めてきました。これにより、知的財産部門は過去3年間で約2,000件の特許ポートフォリオ資産を削減してきました。
高成長領域への戦略的知的財産投資	特許ポートフォリオの削減から得られた財務的リソースは、将来の収益の柱となる、高成長な事業領域における戦略的な知的財産投資へ配分されています。この戦略的な知的財産投資においては、知的財産部門は、会社全体の事業領域を約50カテゴリーに分類し、各カテゴリーの市場もしくはセールスの成長率が2桁以上の高成長な事業領域を特定し、重点的に知的財産投資を行ってきました。その結果、当社の特許ポートフォリオ全体に占める高成長な事業領域における特許ポートフォリオの比率は継続的に増加しています。
開発初期段階における知的財産活動の強化	当社が導入を進めているアンメットニーズに対応したイノベーション手法においては、知的財産を含む、工学、医学、マーケティング等、異なる分野の専門家がチームを組んで、開発の初期段階から事業化を考慮し多角的な視点で開発を進めていきます。知的財産部門はこのような開発の初期段階における知的財産活動の強化を進めてきました。

知的財産部門の次期中期計画

医療機器市場における競争環境は、技術革新、規制強化、グローバル化、異業種参入、価格圧力、品質管理の重要性、そして新興国政府の政策等、多岐にわたる要因が複雑に絡み合い急速に変化しています。医療機器市場の競争環境が激化する中で、知的財産の戦略的な活用が当社にとってますます重要になっています。

当社は、このような競争環境の変化の中で、アンメットニーズに対応するためのイノベーション手法の強化、中国およびインドにおけるR&D拠点の設置、中国における製造工場の設置等といった取り組みを進めています。知的財産部門の次期中期計画では、このような取り組みに向けて、知的財産を守り、競争優位性を強化するための対策を講じ、当社の持続的成長に向けて知的財産マネジメントシステムをさらに強化していきます。

知的財産部門は、2026年3月期から開始される知的財産部門としての次期中期計画の実行を通じて、国際規格 (ISO56005) を遵守する上で課題となっていた、知的財産権の活用強化と、イノベーションプロセスの初期段階における知的財産活動のさらなる強化を進めていきます。これにより、国際規格 (ISO56005) を遵守した知的財産マネジメントシステムの構築をさらに進め、当社の持続的成長に貢献していきます。

知的財産部門の次期中期計画の要旨

取り組み	概要・目指す姿
<p>イノベーション創出を支える 知財サポート強化</p>	<p>当社ではアンメットニーズを出発点とし、技術的解決策を導出するイノベーション手法の強化が進められています。当社は、医療従事者との共同開発体制を採り、開発の初期段階から患者さんや医療従事者の視点を取り入れることで、実際の医療現場での適用性が高い製品の開発を実現させようとしています。また、技術革新の進展に伴い、他社との連携によって、新技術や市場を開拓していく必要性も高まっています。知的財産部門は、イノベーションプロセスの各段階において、共同開発契約等を通じた円滑な協力関係の構築、技術的なコンタミネーションの防止、知的財産ランドスケープの提供、知的財産の適切な保護、適切な情報管理等を行うことで、イノベーションの創出を支援しその成果を守る役割を担います。</p>
<p>新興国展開に向けた 知的財産保護体制の強化</p>	<p>当社の持続的成長には、医療機器が急速に普及している新興国市場でのビジネス強化が欠かせません。当社は、中国市場やインド市場の顧客の需要を迅速に理解し、イノベーション創出をさらに強化していくために、これらの国でR&D拠点を立ち上げることを発表しています。これらの拠点から創出される知的財産の保護を確実にできる体制を構築し、中国およびインドに対する知的財産の保護をさらに強化するとともに、これまで以上に中国およびインド国内企業の動きを注視していきます。また、当社は「メイド・イン・チャイナ」の製品を中国で提供できるようにするために、中国で販売する内視鏡等について、現地での生産を始めることを発表しています。知的財産部門は、製品の製造プロセス等の情報を適切に管理する体制を構築していきます。</p>
<p>AIを活用した 知財オペレーションの高度化</p>	<p>競争環境の激化に伴い、当社は事業開発のスピードをこれまで以上に加速させていく必要があります。知的財産部門はこのスピードに対応していくために、従来の知財オペレーションのグローバル標準化に加え、AIやIA (Intelligent Automation)、RPA (Robotic Process Automation) 等を活用した知財オペレーションの自動化も進め、生産性の大幅な向上を実現していきます。</p>